

# 第7回氷上ばかんす！

## 真冬のかなやま湖を満喫

1月29日、一面に銀世界広がるかなやま湖の特設会場で、町商工会青年部（川村拓志部長）の主催による「第7回かなやま湖氷上ばかんす！」が行われました。この日は、好天に恵まれ、会場には町内外から約250名の皆さんが来場し、氷



完店前広場で鹿肉ジンギスカン



アラスカ野球



スノーフラッグ



スノーラフティング

試合では、カキ氷や熱いお茶に苦戦しベースを踏む前にアウトになってしまったり、笑いと歓声の中、参加した皆さんは、ハッスルプレー全開でした。決勝戦は昨年同様の対戦となり、地元幾寅小学校の先生で編成されたチーム「オー・ローラ」が、昨年の覇者札幌の「チームサウスヤード」の連覇を阻止し、昨年のリベンジを果たしました。会場には家族連れや子ども達が楽しめる催しが、盛



ワカサギすくい



特設滑り台

「スノーラフティング」や氷上の坂を駆け上がる「スノーフラッグ」は、子ども達に大人気で、大きな歓声を上げて楽しんでいました。また、NPO法人南富良野まちづくり観光協会主催の日本一寒くて孤独な氷上ランニングレース「かなやま湖アイス・ラン」も行われ、クロスカントリースキーやスノーシューなど参加スタイルもフリーで、参加した18名はダム堤から会場まで約6kmの氷上での過酷なレースに挑戦しました。売店会場では、ワカサギの天ぷら、おでんや豚汁など、からだを温めるメニューが並び、行列が出来るほどの大盛況でした。その他、特産の鹿肉ジンギスカンなども販売され、広場に用意された炭の簡易コンロを囲み、舌鼓を打っていました。



かなやま湖アイスラン

# ようこそ本部町親善交流団の皆さん

## 町内の児童と交流を深める



「友好の町」沖縄県本部町との間で、平成3年から行われている親善交流事業として、本部町から21名の交流団の皆さん（小学5年生16名、随行者5名）が、1月30日から2月3日までの日程で本町を訪れ、町内の児童との交流を深め、白銀の大地「冬の北海道」を体験しました。

1月30日、午後6時からみなくるで開かれた歓迎会では、池部町長が歓迎の挨拶を述べた後、松本本部町交流団長から、「今回で21回目を迎え、回を重ねるごとに両町の絆が深まり友好の輪が広がっていることを大変うれしく思っております」と高良本部町長のメッセージが披露されました。



歓迎会で児童全員によりエイサーを披露

セージが読み上げられました。本部町の児童からは、「ホームステイやスキー、カーリングの体験を楽しみにしています」「気候や生活文化の違いを学びたいです」などと一人ひとり自己紹介と抱負を発表した後、全員で元気にエイサーなどを披露し、大きな拍手を浴びていました。



幾寅小全校児童の前で「カツオのぼり」を紹介

交流団の一行は、翌日の午前中に幾寅小学校を訪問し、歓迎集会や5年生児童

との交流学習が行われ、屋外でのチューブすべりなどで交流を深めました。午後からは、落合のどんころ野外学校で大ゾリを体験し、空知川スポーツリンクスでは、落合・北落合小学校児童とカーリング体験を通して交流を深めました。リンクの上を歩くのは初体験とあって、悪戦苦闘しながらも、地元児童から、ストーンの投げ方を教わり、ミニ



幾寅小5年生とチューブすべり



幾寅小5年生と名刺交換



ワカサギ釣り体験

この日の夜は、各ホームステイ先で交流を深めました。2月2日の早朝には、ホームステイ先の家族に見送られ、本町を離れた交流団の皆さんは、札幌ドームや市内を見学し、翌日、たくさんの思い出を胸に帰路につきました。



濡れタオルを回すとすぐに凍ります



金山・下金山小児童とスキー交流



落合・北落合小児童とカーリング交流

第5次総合計画 審議会へ諮問

本部町親善交流団来町

新しい「からまつ園」 施設完成

カメラレポート

発信@みなくる

子育て支援センター だより

防犯と交通安全の 住民集会

かなやま湖氷上ばかんす

企業地域貢献活動 学校だより

カメラレポート

こんにちは保健師です

住宅用分譲地購入者募集